

地元の気候風土に適した住まいを考えるきっかけに

エコハウス創造提案活動プロジェクト



●プロジェクト代表者

垂水 弘夫 (環境・建築学部 建築学科 教授)

●プロジェクトメンバー

円井 基史 (環境・建築学部 建築学科 准教授)

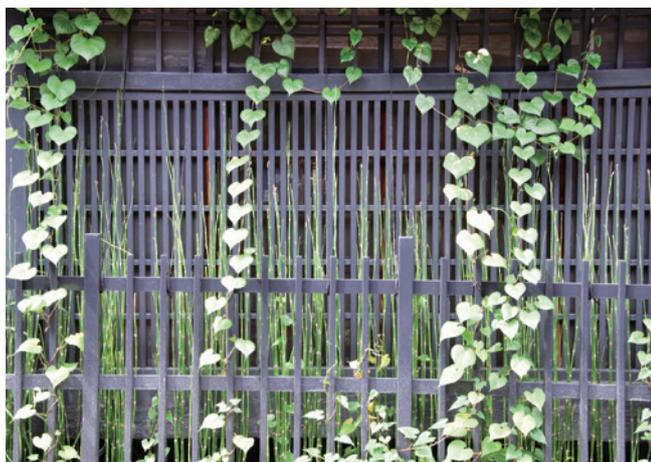
加藤 未佳 (環境・建築学部 建築学科 講師)

伝統的町屋でも学び、気づき

エコハウスの創造は、低炭素社会の形成を目指すわが国にとって、全国どこでも求められるものです。ところが、住まいは地域風土との関わりが強く、地域で調達できる材料や背景となる気候条件、地域の人々のライフスタイルをよく理解しないと、エコハウスの提案はできません。

エコハウス創造提案活動プロジェクトは、本学学生が自らの考えるエコハウスを創造・提案できるポテンシャルの涵養を一番の目的としていますが、地元自治体や地域住民、工務店、ハウスメーカーの参加により、地域社会におけるエコハウスの価値創造と周知・普及に資する面が多々あると考えています。

本プロジェクトの学生は、石川県が地場産業振興センター敷地内で公開している現代的な機能を多数有した「いしか



わエコハウス」と、金沢市内の伝統的町屋を夏と冬にそれぞれ訪問します。「なぜ暖かいのか、寒いのか」「なぜ暑いのか、涼しいのか」「夏冬の熱負荷はどうなっているのか」「光が入る明るい空間は冬や夜は寒くないのか」など、さまざまな学びと気づきを得ます。

地域住民、工務店、ハウスメーカーの皆様にもそうした場と一緒にご参加いただき、知見を深める機会にさせていただければと考えます。また、地元自治体の皆様には、各市町内でエコハウスの学びに適した、地域風土の異なる住宅をご紹介いただき、幅広い多様な事例の確保にご協力いただければと存じます。

タウンミーティングを開催予定

本プロジェクトでは、調査結果をパネルや建築模型にまとめ、見学の協力をいただいたエコハウス、町屋で展示する計画です。さらに、学びの集大成として、学生と教員の双方が発表するタウンミーティングの開催も事業予定に組み入れています。

石川県の風土に適したエコハウスの提案は、参加する地域住民にとって今後の住まいのあり方を考える上での重要な示唆になり得ます。また、工務店、ハウスメーカーにとっても、自社建築物への反映が期待でき、潜在顧客の掘り起こしのきっかけともなります。

皆様のエコハウス創造提案活動プロジェクトへのご参加をお待ちしております。